

## 調査結果の概要

# 1 産地上場水揚量、上場水揚価額及び卸売価格の動き（42漁港）

平成21年の調査対象漁港における上位品目の上場水揚量の動向をみると、前年に比べするめいか（生鮮）（対前年比140％）、びんなが（生鮮）（同129％）等は増加したものの、かつお（生鮮）（同57％）、ほっけ（同71％）等は減少した。

同様に上場水揚価額の動向をみると、前年に比べするめいか（生鮮）（対前年比129％）、びんなが（生鮮）（同110％）等は増加したものの、かたくちいわし（同56％）、ほっけ（同57％）等は減少した。

また、卸売価格については、かつお（生鮮）（対前年比117％）、するめいか（冷凍・近海）（同103％）等は上昇したものの、かたくちいわし（同61％）、まあじ（同70％）等は低下した。（表1）

表1 品目別上場水揚量、上場水揚価額及び卸売価格（上場水揚量上位品目）

年月	品目	単位	びんなが (生鮮)	かつお (生鮮)	かつお (冷凍)	かたくち いわし	まあじ	さば類	さんま	ほっけ	するめいか (生鮮)	するめいか (冷凍・近海)
上場水揚量												
平成21年	1月	t	2,261	165	15,686	4,020	5,789	36,473	69	9,253	2,374	2,111
	2	"	2,245	1,309	16,723	12,774	5,373	16,396	23	4,564	1,494	247
	3	"	2,676	1,330	18,552	15,143	4,797	17,344	2	7,776	793	78
	4	"	1,859	1,927	16,764	12,218	7,562	20,922	0	5,053	122	-
	5	"	8,292	7,747	21,454	5,995	16,982	18,371	1	9,968	644	-
	6	"	12,240	8,190	16,662	4,737	12,417	14,080	227	8,477	5,090	60
	7	"	3,065	6,962	17,256	4,226	10,799	16,857	2,359	997	7,702	2,372
	8	"	361	5,826	18,229	6,307	9,328	33,284	27,036	1,239	10,703	7,206
	9	"	468	6,201	13,626	1,698	10,780	54,318	65,045	10,125	13,194	9,687
	10	"	1,110	2,801	16,700	9,633	7,749	60,620	76,488	8,871	9,874	8,509
	11	"	1,990	551	20,017	2,369	5,916	49,762	65,957	9,612	14,633	6,802
	12	"	3,426	310	9,203	8,184	3,804	57,596	33,647	7,657	6,411	5,931
	21年計	"	39,995	43,319	200,871	87,304	101,295	396,023	270,853	83,592	73,034	43,002
	20年計	"	30,932	76,045	208,028	95,339	95,787	449,474	307,024	118,498	52,229	43,611
	対前年比	%	129	57	97	92	106	88	88	71	140	99
上場水揚価額												
平成21年	1月	百万円	845	37	2,484	129	1,133	2,532	4	261	432	497
	2	"	850	358	2,360	435	1,199	1,379	1	174	351	62
	3	"	911	716	2,614	477	1,234	1,568	0	292	200	20
	4	"	592	1,183	2,811	395	1,484	1,784	0	331	53	-
	5	"	1,930	2,517	3,326	215	2,544	1,290	0	521	66	-
	6	"	2,650	2,769	2,455	168	1,806	1,004	6	473	550	13
	7	"	827	2,681	2,531	162	1,518	1,170	1,103	111	1,176	582
	8	"	211	2,075	2,798	221	1,396	2,426	3,514	154	1,643	1,630
	9	"	218	1,624	1,778	55	1,116	3,126	5,054	402	1,636	1,996
	10	"	485	1,029	1,859	210	840	4,613	4,203	253	1,401	1,786
	11	"	685	258	1,897	68	655	4,349	3,062	414	2,187	1,496
	12	"	896	61	1,250	195	630	3,647	1,268	320	1,199	1,385
	21年計	"	11,102	15,308	28,164	2,731	15,555	28,888	18,216	3,706	10,894	9,465
	20年計	"	10,128	23,027	41,714	4,877	21,117	38,802	20,021	6,518	8,447	9,342
	対前年比	%	110	66	68	56	74	74	91	57	129	101
卸売価格												
平成21年	1月	kg/円	374	225	158	32	196	69	56	28	182	235
	2	"	379	274	141	34	223	84	61	38	235	249
	3	"	341	538	141	31	257	90	57	38	252	253
	4	"	319	614	168	32	196	85	117	65	434	-
	5	"	233	325	155	36	150	70	101	52	103	-
	6	"	217	338	147	35	145	71	28	56	108	214
	7	"	270	385	147	38	141	69	468	111	153	245
	8	"	585	356	153	35	150	73	130	124	154	226
	9	"	466	262	131	33	104	58	78	40	124	206
	10	"	437	367	111	22	108	76	55	29	142	210
	11	"	344	468	95	29	111	87	46	43	149	220
	12	"	262	196	136	24	166	63	38	42	187	233
	21年計	"	278	353	140	31	154	73	67	44	149	220
	20年計	"	327	303	201	51	220	86	65	55	162	214
	対前年比	%	85	117	70	61	70	85	103	80	92	103

(1) さば類（19漁港）

上場水揚量は39万6,023tで、前年に比べ12%減少した。

上場水揚価額は288億8,800万円で、前年に比べ26%減少した。

1 kg当たりの卸売価格は73円で、前年に比べ15%低下した。

上場水揚量の漁港別構成割合をみると、銚子（千葉）が18.5%と最も高く、次いで松浦（長崎）が12.6%、石巻（宮城）が9.5%となっている。（表1、図1、2）

図1 さば類の上場水揚量  
及び卸売価格の推移（平成21年）

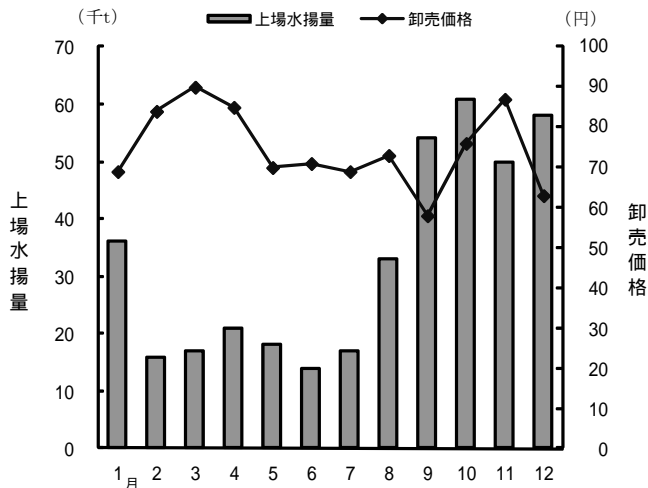
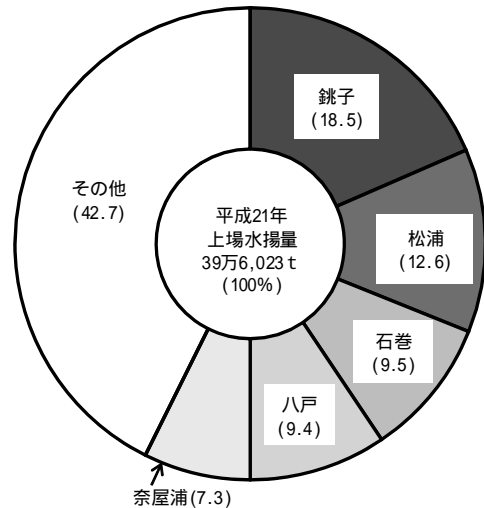


図2 さば類の上場水揚量  
の漁港別構成割合



(2) さんま（15漁港）

上場水揚量は27万853tで、前年に比べ12%減少した。

上場水揚価額は182億1,600万円で、前年に比べ9%減少した。

1 kg当たりの卸売価格は67円で、前年に比べ3%上昇した。

上場水揚量の漁港別構成割合をみると、銚子（千葉）が21.5%と最も高く、次いで根室（北海道）が19.9%、女川（宮城）が14.7%となっている。（表1、図3、4）

図3 さんまの上場水揚量  
及び卸売価格の推移（平成21年）

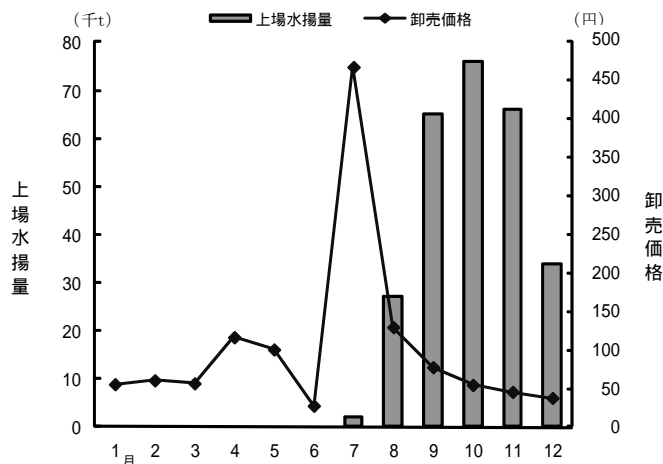
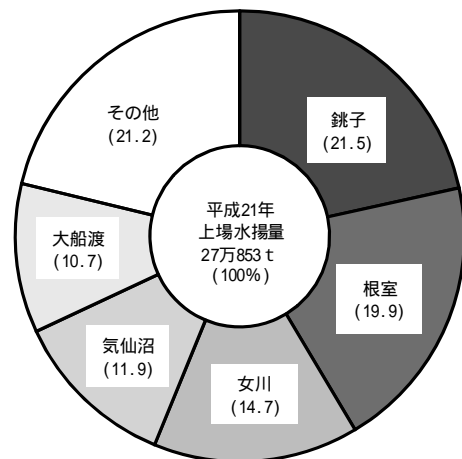


図4 さんまの上場水揚量  
の漁港別構成割合



注：割合の計が100%とならないのは、四捨五入によるものである（以下、図6、図25、図26及び図29も同じ。）。

(3) かつお（冷凍）(12漁港)

上場水揚量は20万871tで、前年に比べ3%減少した。

上場水揚価額は281億6,400万円で、前年に比べ32%減少した。

1kg当たりの卸売価格は140円で、前年に比べ30%低下した。

上場水揚量の漁港別構成割合をみると、焼津（静岡）が60.3%と最も高く、次いで枕崎（鹿児島）が17.7%、山川（鹿児島）が16.0%となっている。（表1、図5、6）

図5 かつお（冷凍）の上場水揚量  
及び卸売価格の推移（平成21年）

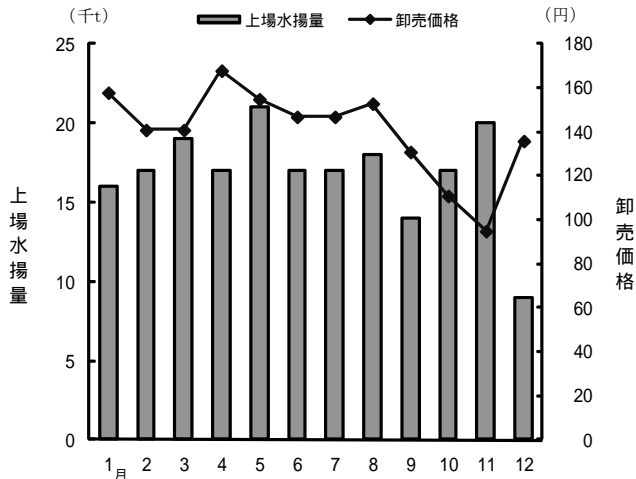
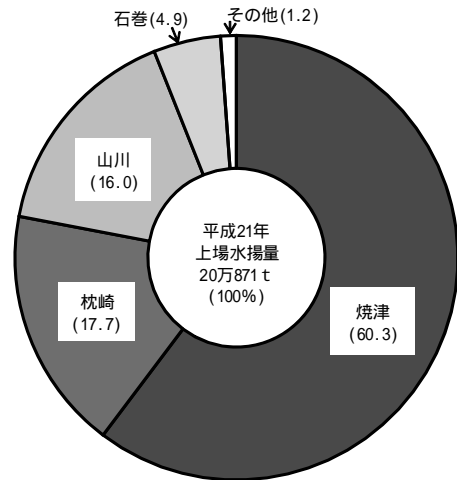


図6 かつお（冷凍）の上場  
水揚量の漁港別構成割合



(4) まあじ（11漁港）

上場水揚量は10万1,295tで、前年に比べ6%増加した。

上場水揚価額は155億5,500万円で、前年に比べ26%減少した。

1kg当たりの卸売価格は154円で、前年に比べ30%低下した。

上場水揚量の漁港別構成割合をみると、境（鳥取）が36.0%と最も高く、次いで松浦（長崎）が21.8%、長崎（長崎）が11.9%となっている。（表1、図7、8）

図7 まあじの上場水揚量  
及び卸売価格の推移（平成21年）

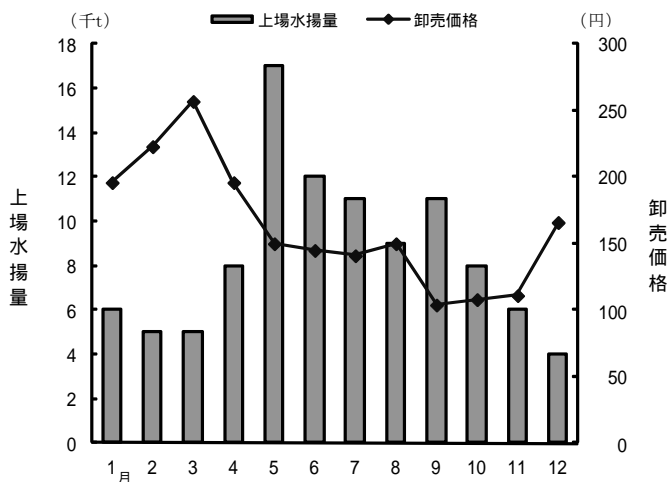
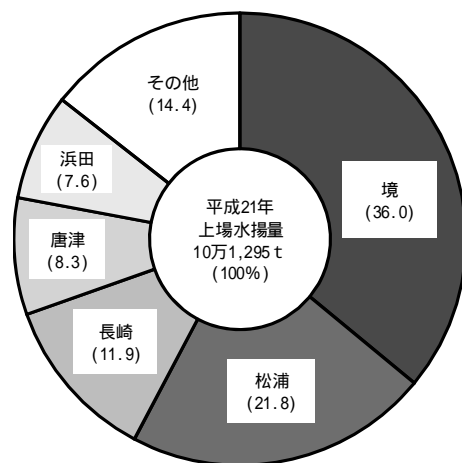


図8 まあじの上場水揚量  
の漁港別構成割合



## 2 用途別出荷量の動き（32漁港）

平成21年の水産物の出荷量（19品目、32漁港）は119万7,823 tで、前年に比べ8.1%減少した。

これを用途別にみると、食用向けは94万4,805 tで、きはだ（冷凍）等が増加したものの、さば類等が減少したため、前年に比べ7.6%減少した。

また、非食用向けは25万3,018 tで、まいわし等が増加したものの、さんま等が減少したため、前年に比べ9.8%減少した。

このことから用途別出荷割合は食用向けが78.9%で、前年に比べ0.4ポイント上昇した。（表2）

表2 用途別出荷量（出荷量上位品目）

出 荷 量	平成21年					対 前 年 比 (ポイント差)				
	出荷量計	食 用 向 け			非食用向け	出荷量計	食 用 向 け			非食用向け
		計	生鮮食用向け	加工向け			計	生鮮食用向け	加工向け	
	t	t	t	t	t	%	%	%	%	%
合 計	1,197,823	944,805	346,927	597,878	253,018	91.9	92.4	89.3	94.3	90.2
生 鮮 品 計	947,990	695,129	269,432	425,697	252,861	88.5	87.9	79.5	94.2	90.3
うち さけ・ます類	44,597	44,514	6,534	37,980	83	113.7	113.8	97.3	117.2	81.4
ま い わ し	33,882	25,896	8,455	17,441	7,986	219.8	194.8	127.2	262.3	377.2
かたくちいわし	75,519	14,975	1,526	13,449	60,544	94.8	86.4	32.7	106.1	97.1
ま あ じ	109,805	78,959	37,843	41,116	30,846	109.4	111.1	110.0	112.1	105.2
さ ば 類	333,566	212,207	69,079	143,128	121,359	81.1	74.1	74.8	73.8	97.2
さ ん ま	161,206	129,876	43,865	86,011	31,330	72.4	80.3	72.2	85.3	51.4
するめいか	81,103	80,515	26,764	53,751	588	147.9	147.9	91.5	213.6	140.0
冷 凍 品 計	249,833	249,676	77,495	172,181	157	107.7	107.7	156.4	94.5	51.0
うち き は だ	36,684	36,684	34,244	2,440	-	386.4	386.4	365.2	2,121.7	-
か つ お	167,285	167,285	18,913	148,372	-	94.9	94.9	118.7	92.5	-
するめいか	32,184	32,027	10,668	21,359	157	94.6	95.0	88.2	98.8	51.0
出 荷 割 合	%	%	%	%	%	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント
合 計	100.0	78.9	29.0	49.9	21.1	( - )	( 0.4 )	( 0.9 )	( 1.3 )	( 0.4 )
生 鮮 品 計	100.0	73.3	28.4	44.9	26.7	( - )	( 0.5 )	( 3.2 )	( 2.7 )	( 0.5 )
うち さけ・ます類	100.0	99.8	14.7	85.2	0.2	( - )	( 0.1 )	( 2.5 )	( 2.6 )	( 0.1 )
ま い わ し	100.0	76.4	25.0	51.5	23.6	( - )	( 9.8 )	( 18.2 )	( 8.3 )	( 9.8 )
かたくちいわし	100.0	19.8	2.0	17.8	80.2	( - )	( 1.9 )	( 3.8 )	( 1.9 )	( 1.9 )
ま あ じ	100.0	71.9	34.5	37.4	28.1	( - )	( 1.1 )	( 0.2 )	( 0.9 )	( 1.1 )
さ ば 類	100.0	63.6	20.7	42.9	36.4	( - )	( 6.0 )	( 1.8 )	( 4.3 )	( 6.0 )
さ ん ま	100.0	80.6	27.2	53.4	19.4	( - )	( 7.9 )	( 0.1 )	( 8.0 )	( 7.9 )
するめいか	100.0	99.3	33.0	66.3	0.7	( - )	( 0.0 )	( 20.3 )	( 20.4 )	( 0.0 )
冷 凍 品 計	100.0	99.9	31.0	68.9	0.1	( - )	( 0.1 )	( 9.7 )	( 9.6 )	( 0.1 )
うち き は だ	100.0	100.0	93.3	6.7	-	( - )	( - )	( 5.4 )	( 5.4 )	( - )
か つ お	100.0	100.0	11.3	88.7	-	( - )	( - )	( 2.3 )	( 2.3 )	( - )
するめいか	100.0	99.5	33.1	66.4	0.5	( - )	( 0.4 )	( 2.4 )	( 2.8 )	( 0.4 )

(1) さば類

用途別にみた出荷量構成割合は、生鮮食用向けは20.7%、食用加工向けは42.9%で、それぞれ前年に比べ1.8ポイント、4.3ポイント低下し、魚油・飼肥料向けは2.0%、養殖用又は漁業用餌料向けは34.4%で、それぞれ前年に比べ0.3ポイント、5.7ポイント上昇した。(表2、3)

表3 さば類の用途別出荷量(平成21年)

区 分	単 位	出荷量計	食 用 向 け			非 食 用 向 け		
			小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼 肥料向け	養殖用又は漁 業用餌料向け
用途別出荷量	t	333,566	212,207	69,079	143,128	121,359	6,558	114,801
構成割合	%	100.0	63.6	20.7	42.9	36.4	2.0	34.4
対前年差	ポイント	-	6.0	1.8	4.3	6.0	0.3	5.7

(2) かつお(冷凍)

用途別にみた出荷量構成割合は、生鮮食用向けは11.3%で、前年に比べ2.3ポイント上昇し、食用加工向けは88.7%で、前年に比べ2.3ポイント低下した。(表2、4)

表4 かつお(冷凍)の用途別出荷量(平成21年)

区 分	単 位	出荷量計	食 用 向 け			非 食 用 向 け		
			小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼 肥料向け	養殖用又は漁 業用餌料向け
用途別出荷量	t	167,285	167,285	18,913	148,372	-	-	-
構成割合	%	100.0	100.0	11.3	88.7	-	-	-
対前年差	ポイント	-	-	2.3	2.3	-	-	-

(3) さんま

用途別にみた出荷量構成割合は、食用加工向けは53.4%、養殖用又は漁業用餌料向けは12.6%で、それぞれ前年に比べ8.0ポイント、1.5ポイント上昇し、生鮮食用向けは27.2%、魚油・飼肥料向けは6.8%で、それぞれ前年に比べ0.1ポイント、9.4ポイント低下した。(表2、5)

表5 さんまの用途別出荷量(平成21年)

区 分	単 位	出荷量計	食 用 向 け			非 食 用 向 け		
			小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼 肥料向け	養殖用又は漁 業用餌料向け
用途別出荷量	t	161,206	129,876	43,865	86,011	31,330	11,022	20,308
構成割合	%	100.0	80.6	27.2	53.4	19.4	6.8	12.6
対前年差	ポイント	-	7.9	0.1	8.0	7.9	9.4	1.5

(4) まあじ

用途別にみた出荷量構成割合は、生鮮食用向けは34.5%、食用加工向けは37.4%で、それぞれ前年に比べ0.2ポイント、0.9ポイント上昇し、養殖用又は漁業用餌料向けは28.1%で、前年に比べ1.0ポイント低下した。(表2、6)

表6 まあじの用途別出荷量(平成21年)

区 分	単 位	出荷量計	食 用 向 け			非 食 用 向 け		
			小計	生鮮食用 向 け	食用加工 向 け	小計	魚油・飼 肥料向け	養殖用又は漁 業用餌料向け
用途別出荷量	t	109,805	78,959	37,843	41,116	30,846	-	30,846
構成割合	%	100.0	71.9	34.5	37.4	28.1	-	28.1
対前年差	ポイント	-	1.1	0.2	0.9	1.1	0.1	1.0

### 3 冷凍・冷蔵工場月末在庫量等の動き

平成21年の調査対象冷凍・冷蔵工場の月間在庫量（年平均値）は39万5,677 tで、前年に比べ6%減少した。

月間出庫量（年平均値）は40万6,292 tで、前年に比べ2%減少した。

月末在庫量（年平均値）は116万4,422 tで、前年に比べ1%減少した。（表7）

表7 品目別月間入・出庫量及び月末在庫量の年平均値の推移（月末在庫量年平均値の上位品目）

年次	品目	単位：t												
		計	冷凍品	さば類	さけ類	えび類	さんま	するめいか	すけとうだら すり身	まあじ	かつお	かれい類	塩蔵品	たらこ
月間在庫量 （年平均値）														
平成17年		465,129	380,239	37,147	32,401	29,992	11,169	12,026	15,784	10,340	18,762	8,224	28,373	4,313
18		451,058	366,772	38,099	31,110	28,815	10,701	11,484	14,390	9,880	17,978	6,936	28,258	4,574
19		434,823	350,027	30,501	29,162	25,820	12,744	13,623	12,985	9,952	18,261	6,793	26,641	4,873
20		419,017	342,079	33,678	28,449	24,328	17,164	12,802	14,579	9,038	17,733	7,796	25,245	5,165
21		395,677	322,083	27,983	27,265	23,652	18,678	12,484	11,257	8,831	18,373	6,486	23,722	4,347
	対前年比（%）	94	94	83	96	97	109	98	77	98	104	83	94	84
月間出庫量 （年平均値）														
平成17年		463,038	377,601	34,943	30,931	29,865	10,597	11,873	16,044	10,984	19,662	8,051	28,762	4,256
18		451,696	368,113	36,451	31,751	28,382	11,678	11,977	14,362	10,265	18,121	7,142	27,908	4,496
19		439,979	354,892	33,349	29,331	26,808	11,980	12,125	13,395	9,990	18,118	6,907	27,189	4,794
20		413,587	336,452	31,628	29,464	25,105	14,976	13,158	13,530	8,437	18,462	7,242	25,360	5,069
21		406,292	331,544	29,126	26,899	24,239	20,696	12,993	12,309	9,194	18,289	6,856	24,354	4,821
	対前年比（%）	98	99	92	91	97	138	99	91	109	99	95	96	95
月末在庫量 （年平均値）														
平成17年		1,245,552	1,073,829	102,222	85,438	84,896	44,528	41,885	41,697	40,564	36,930	22,387	84,801	24,705
18		1,239,084	1,069,242	102,508	93,683	84,197	46,486	41,036	44,541	35,406	32,958	20,945	83,003	24,863
19		1,202,489	1,029,928	100,846	94,390	80,764	39,291	45,443	39,604	34,612	29,955	20,415	81,189	25,615
20		1,173,224	1,010,426	99,936	89,616	73,489	49,116	50,506	40,726	37,144	29,541	19,585	78,022	28,477
21		1,164,422	1,008,647	103,384	82,694	64,217	63,520	46,758	46,013	39,328	30,629	21,393	73,885	24,909
	対前年比（%）	99	100	103	92	87	129	93	113	106	104	109	95	87

#### (1) さば類（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は10万3,384 tで、前年に比べ3%増加した。

月別にみると、月末在庫量は1月が最も多く7月が最も少ない。（表7、図9、10）

図9 さば類（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

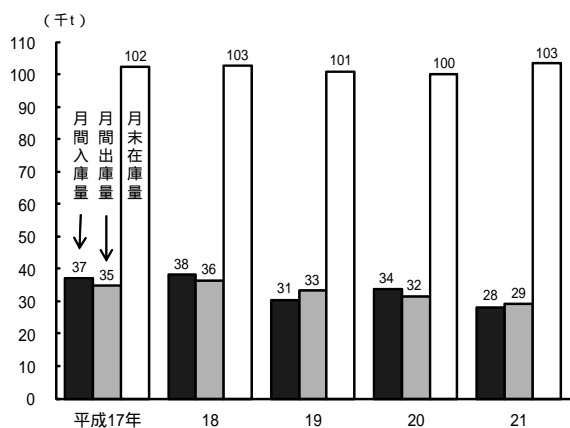
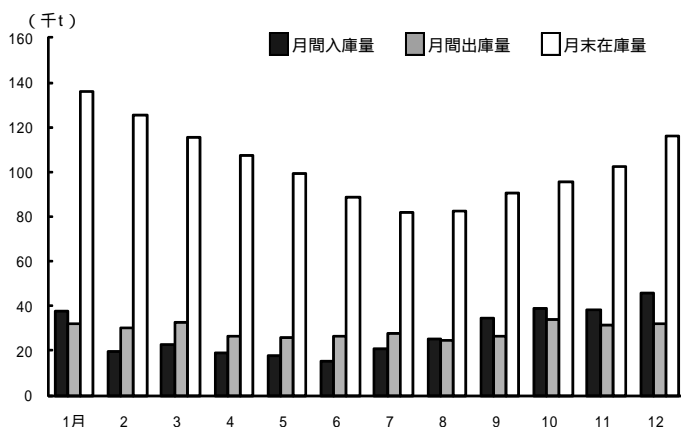


図10 さば類（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成21年）



(2) さけ類（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は8万2,694 tで、前年に比べ8%減少した。

月別にみると、月末在庫量は3月が最も多く7月が最も少ない。（表7、図11、12）

図11 さけ類（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

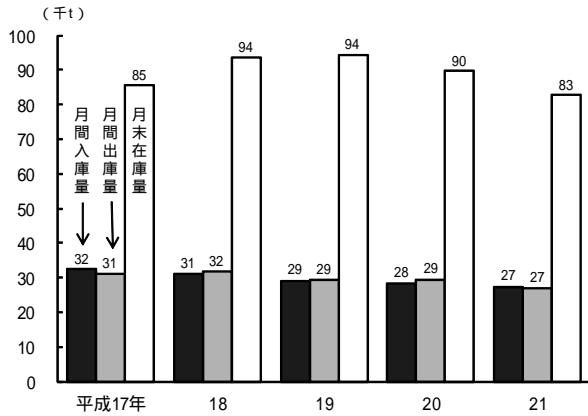
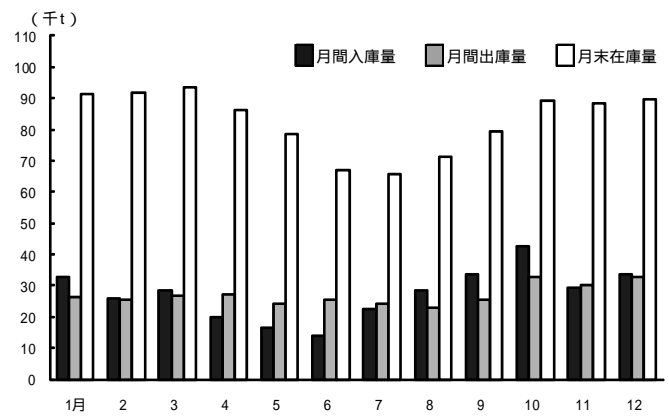


図12 さけ類（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成21年）



(3) えび類（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は6万4,217 tで、前年に比べ13%減少した。

月別にみると、月末在庫量は11月が最も多く5月が最も少ない。（表7、図13、14）

図13 えび類（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

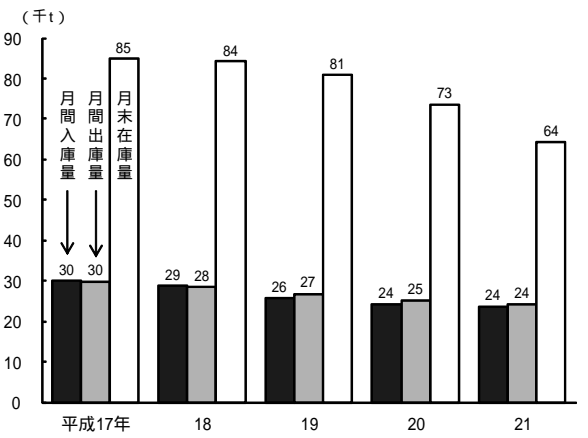
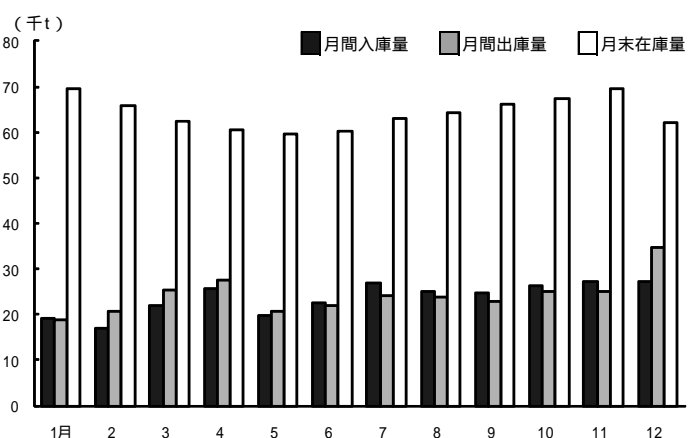


図14 えび類（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成21年）





(4) さんま（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は6万3,520tで、前年に比べ29%増加した。

月別にみると、月末在庫量は1月が最も多く8月が最も少ない。（表7、図15、16）

図15 さんま（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

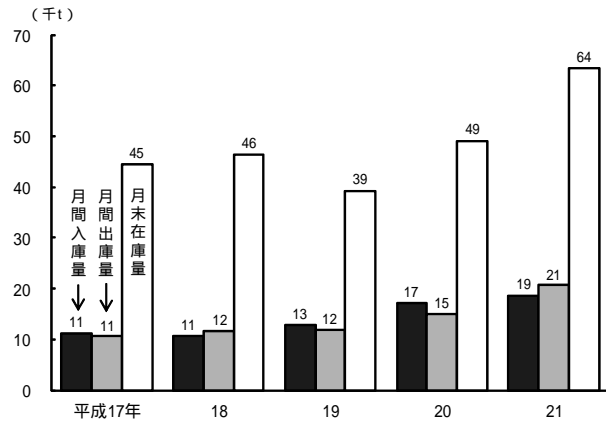
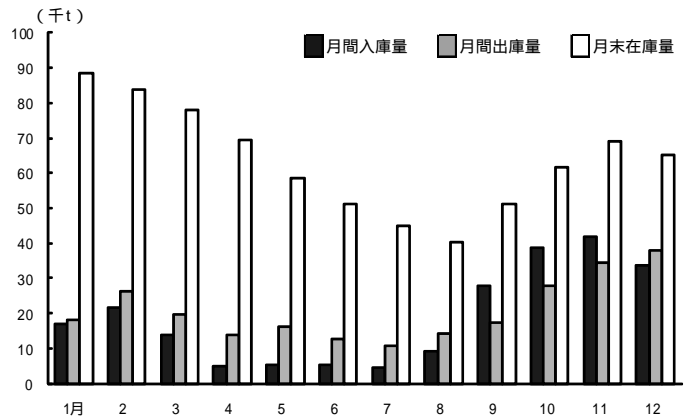


図16 さんま（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成21年）



(5) するめいか（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は4万6,758tで、前年に比べ7%減少した。

月別にみると、月末在庫量は1月が最も多く7月が最も少ない。（表7、図17、18）

図17 するめいか（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

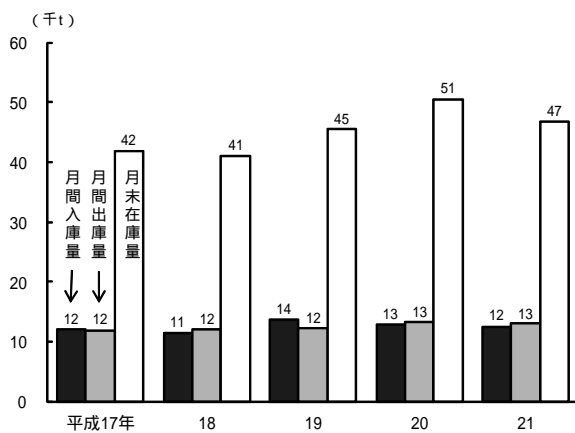
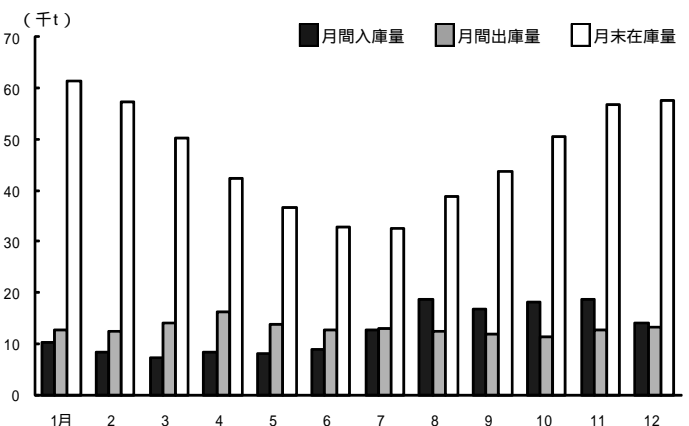


図18 するめいか（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成21年）



(6) すけとうだらすり身（冷凍品）

月末在庫量（年平均値）は4万6,013tで、前年に比べ13%増加した。

月別にみると、月末在庫量は3月が最も多く12月が最も少ない。（表7、図19、20）

図19 すけとうだらすり身（冷凍品）の月間入・出庫量及び月末在庫量（年平均値）の推移

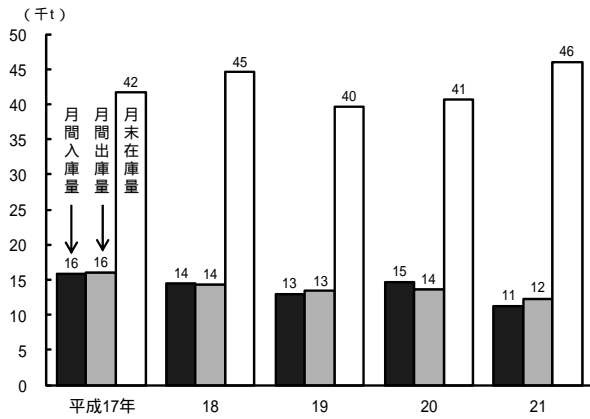
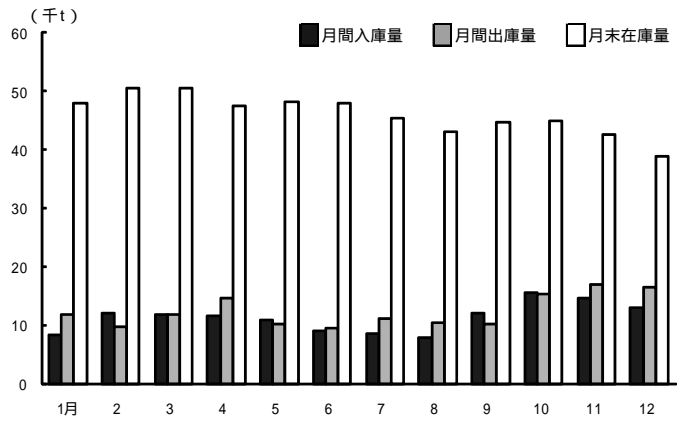


図20 すけとうだらすり身（冷凍品）の月別月間入・出庫量及び月末在庫量の推移（平成21年）



## 4 水産加工品生産量の動き

### (1) 食用加工品生産量

平成21年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は184万9,505 tで、前年に比べ5%減少した。

食用加工品生産量の加工種類別の構成割合をみると、ねり製品が28.2%と最も高く、次いで冷凍食品が16.6%、塩干品が12.3%、塩蔵品が11.2%となっており、この4種類で生産量全体の約7割を占めている。（表8、図21）

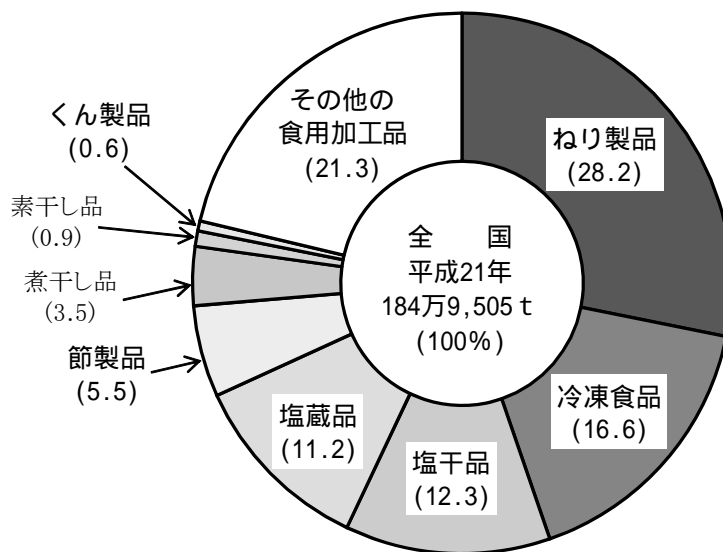
表8 食用加工品の加工種類別生産量の推移

加工種類 年次	1) 計	ねり製品	冷凍食品	素干し品	塩干品	煮干し品	塩蔵品	くん製品	節製品	その他の 食用加工品	2) 焼・味付のり
生産量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	千枚
平成17年	2,090,493	655,247	285,643	32,344	230,124	71,057	208,580	11,805	111,476	484,217	8,422,092
18	1,999,821	617,956	292,985	25,817	222,883	69,038	197,975	7,876	111,862	453,429	8,286,449
19	1,930,546	605,841	283,667	22,585	212,002	72,409	190,370	7,871	107,332	428,469	7,652,951
20	1,940,485	563,829	333,185	22,032	211,461	71,240	194,100	11,806	103,789	429,043	7,976,604
21	1,849,505	520,723	306,591	17,003	227,155	65,418	206,368	11,165	101,666	393,416	7,357,874
対前年比	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成17年	98	99	94	92	98	113	96	91	101	98	101
18	96	94	103	80	97	97	95	67	100	94	98
19	97	98	97	87	95	105	96	100	96	94	92
20	101	93	117	98	100	98	102	150	97	100	104
21	95	92	92	77	107	92	106	95	98	92	92

注：1)は、焼・味付のりの生産量を含んでいない。

2)は、板のりに換算した枚数である。

図21 食用加工品生産量の加工種類別構成割合



## ア ねり製品

ねり製品の生産量は52万723 tで、前年に比べ8%減少した。

品目別にみると、ねり製品生産量の約9割を占めるかまぼこ類は45万3,850 tで、前年に比べ8%減少した。

魚肉ハム・ソーセージ類は6万6,873 tで、前年に比べ7%減少した。(表9、図22)

図22 ねり製品生産量の品目別構成割合

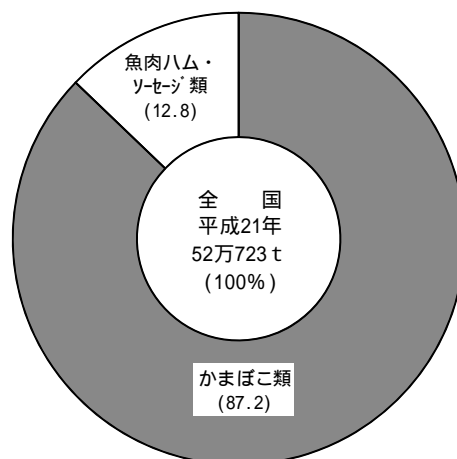


表9 ねり製品の品目別生産量(全国)

区分	平成20年	21	対前年差	対前年比
ねり製品	563,829 t	520,723 t	43,106 t	92%
かまぼこ類	491,662 t	453,850 t	37,812 t	92%
魚肉ハム・ソーセージ類	72,167 t	66,873 t	5,294 t	93%

## イ 冷凍食品

冷凍食品の生産量は30万6,591 tで、前年に比べ8%減少した。

品目別にみると、魚介類(切り身、むきえび等の加工品)は15万8,733 t、水産物調理食品は14万7,858 tで、前年に比べそれぞれ11%、5%減少した。(表10、図23)

図23 冷凍食品生産量の品目別構成割合

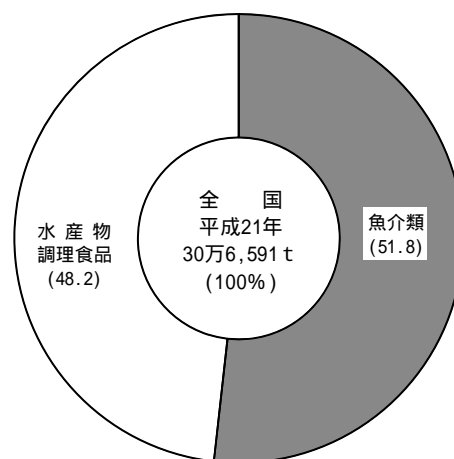


表10 冷凍食品の品目別生産量(全国)

区分	平成20年	21	対前年差	対前年比
冷凍食品	333,185 t	306,591 t	26,594 t	92%
魚介類	177,684 t	158,733 t	18,951 t	89%
水産物調理食品	155,501 t	147,858 t	7,643 t	95%

## ウ 素干し品

素干し品の生産量は1万7,003 tで、前年に比べ23%減少した。

品目別にみると、するめは7,591 tで、前年に比べ27%減少した。

また、品目別構成割合をみると、するめが44.6%と最も高く、次いでいわしが5.0%となっている。(表11、図24)

図24 素干し品生産量の主要品目別構成割合

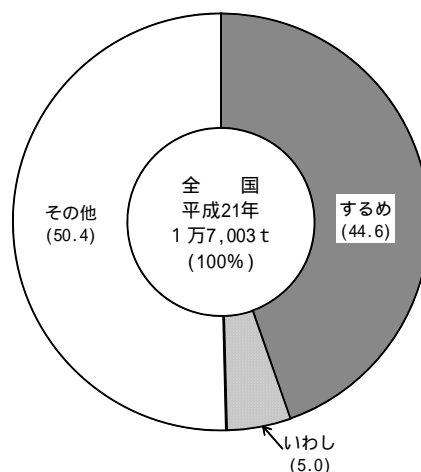


表11 素干し品の主要品目別生産量 (全国)

区	分	平成20年	21	対前年差	対前年比
		t	t	t	%
素	干	22,032	17,003	5,029	77
うち	するめ	10,341	7,591	2,750	73
	いわし	1,091	846	245	78

## エ 塩干品

塩干品の生産量は22万7,155 tで、前年に比べ7%増加した。

品目別にみると、さばは2万1,950 tで、前年に比べ45%増加し、いわしは1万9,287 tで、前年に比べ13%減少した。

また、品目別構成割合をみると、あじが23.5%と最も高く、次いでほっけが20.3%、さんまが13.7%、さばが9.7%、いわしが8.5%となっている。(表12、図25)

図25 塩干品生産量の主要品目別構成割合

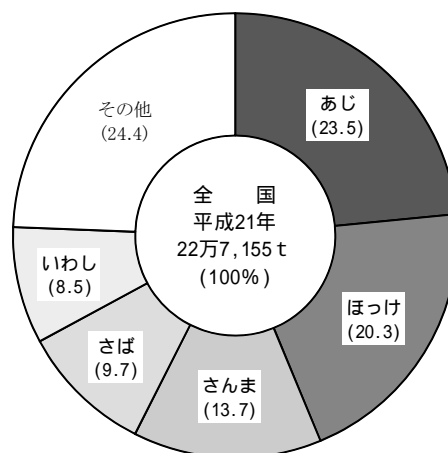


表12 塩干品の主要品目別生産量 (全国)

区	分	平成20年	21	対前年差	対前年比
		t	t	t	%
塩	干	211,461	227,155	15,694	107
うち	いわし	22,135	19,287	2,848	87
	あじ	46,715	53,298	6,583	114
	さんま	27,316	31,141	3,825	114
	さば	15,179	21,950	6,771	145
	ほっけ	45,812	46,064	252	101

### オ 煮干し品

煮干し品の生産量は6万5,418 tで、前年に比べ8%減少した。

品目別にみると、いわしは2万7,831 tで、前年に比べ4%増加し、しらす干しは2万9,185 tで、前年に比べ8%減少した。

また、品目別構成割合をみると、しらす干しが44.6%と最も高く、次いでいわしが42.5%となっている。(表13、図26)

図26 煮干し品生産量の主要品目別構成割合

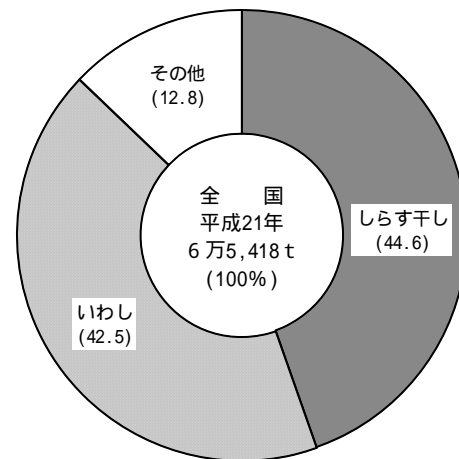


表13 煮干し品の主要品目別生産量(全国)

区 分	平成20年	21	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
煮 干 し 品	71,240	65,418	5,822	92
うち い わ し	26,650	27,831	1,181	104
し ら す 干 し	31,734	29,185	2,549	92

### カ 塩蔵品

塩蔵品の生産量は20万6,368 tで、前年に比べ6%増加した。

品目別にみると、さけ・ますは10万1,045 t、さばは4万8,986 tで、前年に比べそれぞれ3%、35%増加した。

また、品目別構成割合をみると、さけ・ますが49.0%と最も高く、次いでさばが23.7%、さんまが6.6%、たら・すけとうだらが4.2%となっている。(表14、図27)

図27 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合

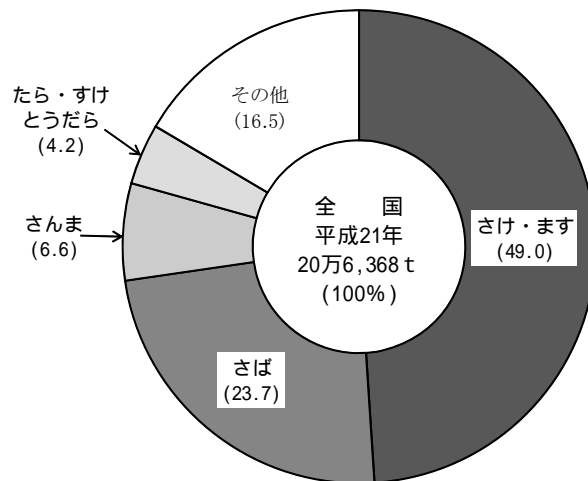


表14 塩蔵品の主要品目別生産量(全国)

区 分	平成20年	21	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 蔵 品	194,100	206,368	12,268	106
うち さ ば	36,201	48,986	12,785	135
さ け ・ ま す	98,046	101,045	2,999	103
た ら ・ す け とう だ ら	8,038	8,622	584	107
さ ん ま	15,436	13,678	1,758	89

## キ くん製品

くん製品の生産量は1万1,165 tで、前年に比べ5%減少した。(表15)

表15 くん製品の生産量(全国)

区 分	平成20年	21	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
く ん 製 品	11,806	11,165	641	95

## ク 節製品

節製品の生産量は10万1,666 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、節類は6万7,282 t、けずり節は3万4,384 tで、前年に比べそれぞれ1%、5%減少した。(表16、図28)

図28 節製品生産量の品目別構成割合

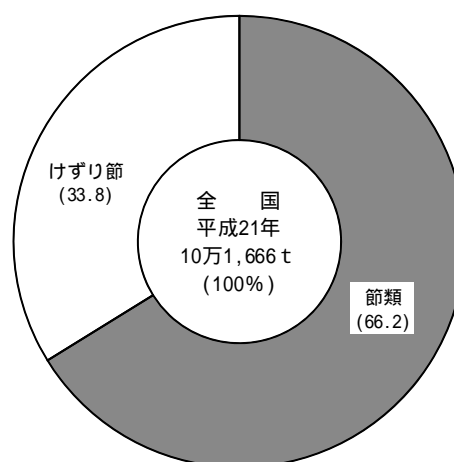


表16 節製品の品目別生産量(全国)

区 分	平成20年	21	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
節 製 品	103,789	101,666	2,123	98
節 類	67,718	67,282	436	99
け ず り 節	36,071	34,384	1,687	95

## ケ 焼・味付のり

焼・味付のりの生産量は73億5,787万4千枚で、前年に比べ8%減少した。(表17)

表17 焼・味付のりの生産量(全国)

区 分	平成20年	21	対前年差	対前年比
	千枚	千枚	千枚	%
焼 ・ 味 付 の り	7,976,604	7,357,874	618,730	92

注: 生産量は、板のりに換算した枚数である。

(2) 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は161万5,983 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、さば類は32万7,920 t、たら類は5万1,374 tで、前年に比べ共に19%減少し、いわし類は22万6,423 t、さんまは28万6,162 t、いか類は8万7,085 tで、前年に比べそれぞれ3%、46%、10%増加した。

また、品目別構成割合をみると、さば類が20.3%と最も高く、次いでさんまが17.7%、いわし類が14.0%、さけ・ます類が8.6%、いか類が5.4%、まあじ・むろあじ類が4.8%となっている。(表18、図29)

表18 生鮮冷凍水産物の品目別生産量の推移

年次	品目	単位	計	品目別							
				さけ・ます類	いわし類	まあじ・むろあじ類	さば類	さんま	たら類	ほっけ	いか類
生産量											
平成17年		t	1,625,150	158,795	235,359	122,290	368,694	118,423	53,318	35,517	89,340
18		"	1,679,191	154,929	249,400	87,597	441,683	124,585	68,649	40,038	69,366
19		"	1,657,243	169,977	267,527	71,581	347,249	179,245	72,531	48,776	86,996
20		"	1,655,415	134,779	220,242	80,105	405,507	195,704	63,144	38,341	79,273
21		"	1,615,983	139,577	226,423	77,349	327,920	286,162	51,374	24,782	87,085
対前年比											
平成17年		%	100	104	76	71	165	110	99	80	98
18		"	103	98	106	72	120	105	129	113	78
19		"	99	110	107	82	79	144	106	122	125
20		"	100	79	82	112	117	109	87	79	91
21		"	98	104	103	97	81	146	81	65	110

注：生鮮冷凍水産物は、水産物の生鮮品（丸、フィレー、すり身等）を凍結室において凍結したものである。

図29 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合

